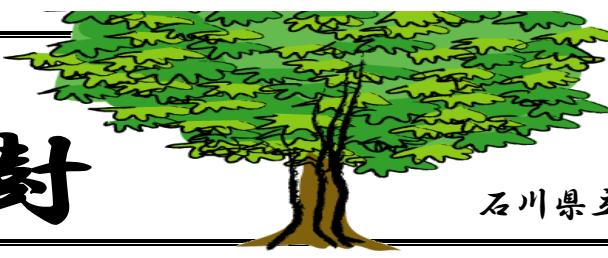


大樹

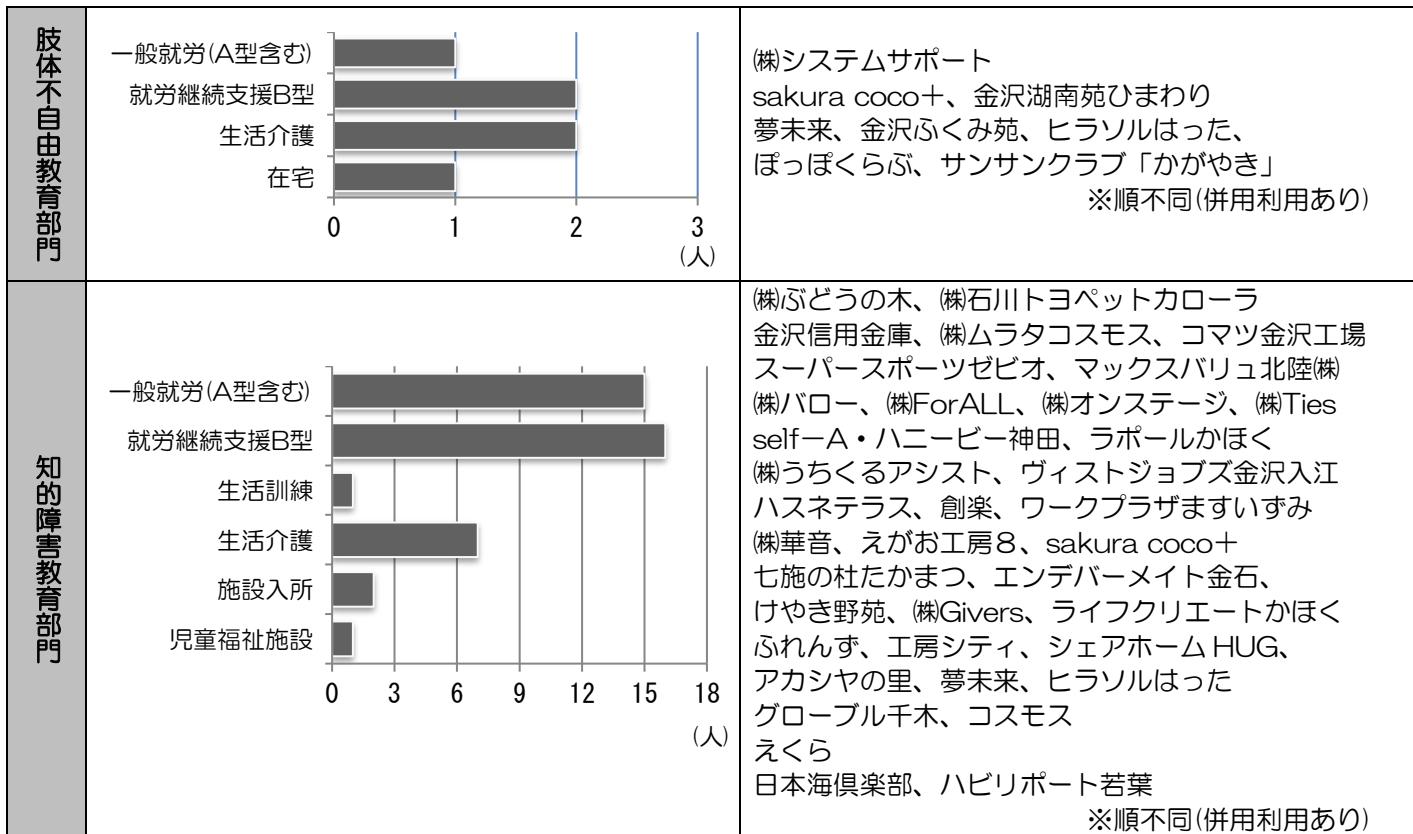


R7.3月 発行

石川県立いしかわ特別支援学校

令和6年度の進路

高等部卒業生 肢体不自由教育部門 6名 知的障害教育部門 42名



高等部3年間の歩み（進路決定までの取り組み）

生徒が進路決定までに取り組んできたことや保護者の思いを紹介します。



知的障害教育部門 高等部 Aさん 進路先…株式会社うちくるアシスト玉鉢

実習履歴	実習先	作業内容
2年	前期：ワークショップひなげし リサイクル工場 後期：シェア金沢	トレイの仕分け作業 温泉清掃業務、ランドリー業務など
3年	前期：シェア金沢 後期：株式会社うちくるアシスト 玉鉢	お弁当の盛り込み、調理補助など 厨房作業、清掃作業など



保護者の思い

最初の実習は、親子共に手探りで大変でした。実習が始まると、思うようにいかず、働くことへの不安が募る場面もありました。しかし、この経験を通じて、本人の意思を尊重することの大切さを強く感じました。

その後、実習の見学には必ず本人を同行させ、実習先の選定でも本人の意思を確認しました。本人の意思を確認することで、実習の成果や効果が格段に向上し、親子共に卒業後の仕事についてのイメージがより具体的になりました。本人の意思を確認することは難しい場合もありましたが、最初の失敗が本人に考える機会を与えたように感じます。

働くことは、さまざまな困難が待ち受けているかも知れませんが、仕事を通じてやりがいや楽しさを見つけ、前向きに頑張ってほしいと願っています。

知的障害教育部門 高等部 Bさん 進路先…株式会社ぶどうの木

実習履歴	実習先	作業内容
1年	前期：パンと焼き菓子の店 穂の香 後期：大生食品工業株式会社 セントラルキッチン事業部	ラスク作り、調理補助など 調理補助、パック詰め、梱包など
2年	前期：マックスバリュ金沢駅西本町店 後期：イオン金沢店	青果の袋詰め、カット、陳列など 惣菜盛り付けなど
3年	前期：株式会社メフォス 後期：株式会社ぶどうの木	調理補助など 製造補助など



本人の思い

私は本校に入学する際に、フードデザイン班かビルクリーニング班のどちらかを選ばなければならず、希望していたフードデザイン班に決まったときは、とても嬉しかったのを覚えています。それから毎週、先生方の指導のもとで調理や効率よく作業することの大切さを学び、成長することができました。3年生になってからは、多くの職場で実習を経験し、合計6社で勉強させていただきました。どの職場でも楽しく仕事ができ、最終的に「ぶどうの木」に就職が決まりました。

これまで支えてくださった先生方、真剣に進路を考えてくれた担任の先生、一緒に歩んでくれた家族に感謝しています。4月からは社会人として頑張ります。

保護者の思い

娘は小学生の頃は普通級に在籍し、中学生になると特別支援学級で学びました。そして、高校進学のタイミングでこちらの高等部に入学しました。こちらの学校では、学習支援だけでなく、就職のサポートもしていただけたと知り、入学を決めました。

入学後は、校内実習や職場実習、部活動にも積極的に参加し、毎日楽しく通学していました。職場実習では、3年間で多くの職場で学ばせていただきました。どの職場でも沢山の事を教えてもらい、大変お世話になりました。お陰様で就職先も決まり、先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

4月から社会人になりますが、これからも家族として変わらず応援していきたいと思います。

肢体不自由教育部門 高等部 Cさん 進路先…株式会社システムサポート

実習履歴	実習先	作業内容
2年	前期：米ライフ 後期：ライフクリエートかほく	軽作業（ラベル貼りなど） 軽作業（ゴム紐巻きなど）
3年	前期・後期とも 株式会社システムサポート <前期：学校からリモートワーク> <後期：自宅からリモートワーク>	パソコン業務 デジタルサイネージ製作（電子広告）



本人の思い

私は2年次の時に企業の方に向けて自分の思いを伝える機会があり、身体的な課題（トイレや通勤の問題）を解決し、企業で働きたいという思いを伝えました。その思いや頑張りが企業に伝わり、3年次に企業実習を2回行うことができました。

実習はリモートワークで行い、通勤をしなくても働けることを知りました。業務では電子広告を作成したり、データ処理の流れを作ったりしました。一から自分で作ることの楽しさと達成感を得ることができ、自信に繋げることができました。

4月からは実習で教えていただいた「相手のことを考えて行動する」ことを心掛けて、信頼される社会人になれるよう仕事に励んでいきます。

保護者の思い

卒業後の進路について考えた時に息子が言ったのは「トイレ介助が必要な自分は生活介護の選択しかないのでは」でした。環境が整えば自分で排泄はできるのに、このままでは仕事をしてみたいという意欲を失わせてしまうことになると感じました。コロナ禍により、世の中でリモートワークが進んだことで企業就労で在宅ワークをすることが可能になり、パソコンが好きで情報処理検定の資格取得もしていた息子にとっては、良い時期が重なったように思います。

私が息子に強く勧めたのは資格の取得です。必ず自分の強みになるからと教え現在も新しい資格の勉強中です。4月から新しい生活をスタートさせる息子を今後もサポートし、応援していきます。

肢体不自由教育部門 高等部 Dさん

進路先…ぽっぽくらぶ、ヒラソルはつた、サンサンクラブかがやき分室（併用利用）

実習履歴	実習先	作業内容
2年	前期：ヒラソルはつた 後期：ぽっぽくらぶ	連絡帳作成など 余暇活動
3年	前期：生活介護事業所カノン 後期：サンサンクラブかがやき分室	割り箸選別など 牛乳パックラミネートはがしなど



保護者の思い

娘の進路について先生方と話をして、娘が毎日笑顔で過ごす事ができるよう考えてきました。幸い、娘はあまり人見知りをすることなく、誰とでも笑顔で仲良く過ごす事ができるのですが、娘は医療的ケアを必要としているので、卒業後の進路を考えるときに、看護師のいる施設の少なさに驚きました。水曜日の利用先がどうしても決まらず、2月まで実習をし、ようやく3か所利用で決まりました。

また、日常の場面では相手の思いを理解し、自分の思いを伝える事がうまくできるようになる事が課題でした。しかし学校での生活を通して、先生方やお友達、またデイサービスの方たちと接していくうちに表情や特に言葉遣いが著しく成長していくのが良くわかりました。これについては本当に感謝しております。ありがとうございました。これから娘のさらなる成長に期待をすると共に、楽しみにしていきます。